

Philharmonic Trio Vienna

フィルハーモニックトリオ・ウィーン

シュトイデ弦楽四重奏団として2002年結成時から活動していたメンバーでトリオをスタートさせた。今ではすっかりウィーンフィルの中堅、要のメンバー。コロナ禍でのさまざま経験から、世界中のアーティストとのコラボレーションや音楽を届けることに一層思いが深まり、今回はトリオで来日。



フォルクハルト・シュトイデ (ヴァイオリン)

Volkhard Steude (Violin)

ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団(以下ウィーン・フィル)のコンサート・マスター。

ベルリンにてヴェルナー・ショルツに、ウィーンでアルフレート・シュタールにそれぞれ師事する。

オーストリア内外で室内楽及びソロ活動を活発に行っており、ウィーン・フィルのメンバーにより結成されたウィーン・ヴィルトゥオーゼンのリーダーを2001年より2012年まで務めた。



エルマー・ランダラー (ヴィオラ)

Elmar Landerer (Viola)

1974年生まれ。ウィーン・フィルのヴィオラ奏者。ウィーンにて、ミヒャエル・シュニッツラーとペーター・オクセンホーフアーに師事。様々な室内楽活動を行っており、ベルヴェデーレ三重奏団、ウィーン・ヴィルトゥオーゼンのメンバーでもある。



ヴォルフガング・ヘルテル (チェロ)

Wolfgang Haertel (Cello)

1975年生まれ。ウィーン・フィルのチェロ奏者。グラーツでヒルドグント・ポッシュに、ウィーンでヴォルフガング・ヘルツァーにそれぞれ師事し、優秀な成績で卒業。2000年まで、ウィーン・フォルクスオーパーの首席チェロ奏者を務めた。



広瀬悦子(ピアノ)

Etsuko Hirose (Piano)

1999年マルタ・アルゲリッチ国際コンクール優勝。同年、パリ国立高等音楽院を首席で卒業。

情熱的でスケールの大きな音楽作り、美しい音色、幅広いレパートリーが高い評価を集め、世界各国で演奏活動を行っている。CDも多数リリースし最新盤は自身によるピアノ独奏版編曲のリムスキー=コルサコフ:交響組曲「シェヘラザード」を収録した『シェヘラザード』。

©Michel Restany



シュトイデ弦楽四重奏団

《収録曲》

ドヴォルザーク:弦楽四重奏曲 第12番
ヘ長調 op.96 B.179 「アメリカ」
スメタナ:弦楽四重奏曲 第1番 ホ短調
「わが生涯より」

LEGARE1006 2,500円



シュトイデ弦楽四重奏団

《収録曲》

P.I.チャイコフスキー:弦楽四重奏曲 第1番
二長調 作品11
A.ボロディン:弦楽四重奏曲 第2番 二長調

CMCD-28236 3,024円



シュトイデ弦楽四重奏団

《収録曲》

L.v.ベートーヴェン:弦楽四重奏曲
第11番 へ短調 作品95 「セリオーン」
F.シューベルト:弦楽四重奏曲 第14番
二短調 D.810 「死と乙女」

CMCD-28335 3,024円



藤原道山&シュトイデ弦楽四重奏団

《収録曲》

MINORI、からたちの花、Flow my tears
一流れよ、わが涙-、虚空、Lune、月下
竹韻、La Festa、燕子-Swallow- 他

COCQ-84926 3,024円